

MASTER SPIN170-220, JETI SPIN200 用補足説明書

(本記載内容は柊リトルベランカの著作物であるため、許可なく転載不可)

まずアンプのケーブルについてご説明いたします。

(1) 黒の3本のケーブルはモーター接続用です。ただしこの黒い3本のケーブルには5.5mmのメスコネクターを半田付けします。モーターから出ている3本のケーブルには5.5mmのオスコネクターを半田付けします。

この3本のケーブルはどれをどのように接続してもモーターは回転します。ただしもし回転方向が逆の場合は3本のうちどれか2本を入れ替えることで希望の方向へ回転させることができます。

<http://www.little-bellanca.com/shopping/product.php?PI=016783>

(2) モーター側の反対側は動力用バッテリー接続用です。マイナス(黒)2本とプラス(赤)2本ともう一本少し細いプラス(赤)があると思います。この少し細いプラス(赤)はアンチスパーク回路へ接続されますのでこれにも4ミリコネクターのオスを半田付けします。肝心のバッテリー接続用のマイナス(黒)2本とプラス(赤)2本にはそれぞれ5.5mmコネクターのメスとオスを一本一本に半田付けします。一本で約100A程度のキャパシティがあります。

<http://www.little-bellanca.com/shopping/product.php?PI=016782>

(3) アンプから出ている平の3芯ケーブルのうち黒いコネクターの付いているほうは受信機のスロットルチャンネルに接続します。もう一本の赤いコネクターの付いているケーブルは、そちらにはないですがアンプのプログラムや設定変更などを行うJETI BOXに接続します。設定変更しない場合は必要としませんが、アンプ内部の状態なども知る事が出来るので必要アイテムのひとつになります。

<http://www.little-bellanca.com/shopping/product.php?PI=016125>

(4) 動力用バッテリーのマイナス(黒)ケーブルには5.5mmオスコネクターを半田付けします。プラスケーブル(赤)には5.5mmメスを半田付けし、さらにこのプラスケーブルに分岐ケーブルを半田付けします。其の分岐ケーブルには4mmのメスコネクターを半田付けします。

(5) 半田付けした全てのコネクターはシュリンクチューブでショートしないよう被覆します。

<http://www.little-bellanca.com/shopping/product.php?PI=017020>

(6) ここまでできましたらモーターを丈夫な台などに固定します。プロペラは決して装着しないで下さい。モーターの3ケーブルとアンプの3ケーブルを仮に接続します。

(7) 受信機のスロットルチャンネルに黒いコネクタの付いたケーブルを接続します。また受信機にはニッカド4.8Vのバッテリーをスイッチハーネスを挟んで接続します。これはどのチャンネルに接続しても大丈夫です。まだスイッチはオフにしておいてください。

(8) 続いて動力用バッテリーをアンプに接続します。このとき動力用バッテリーが一個の場合あるいは2個の場合など異なりますがもし動力用バッテリーが一個の場合はアンプ側端子はプラスマイナスそれぞれ一本しか必要としないので其の場合は使わないものはテープなどを巻いてメクラにしてください。

(9) まず最初に黒のマイナスケーブルをアンプと接続させてください。これは重要です。

(10) 続いて動力用バッテリーのプラスケーブルに付けた分岐ケーブルをアンプのアンチ・スパーク用ケーブル(赤の細いケーブル)に接続してください。これも重要です。

(11) 最後に動力用バッテリーの赤プラスケーブルをアンプの赤プラスケーブルと接続してください。

(12) ここまでできましたら送信機の電源をオンにします。フタバの場合はスロットルのチャンネルをリバースにしておいてください。(重要です)そしてスロットルスティックを最スローにして下さい。

(13) 受信機の接続した4.8Vのニッカドバッテリーのスイッチをオンにします。

(14) アンプがアームされ何らかの音が出ます。この音が出ましたら少しだけスロットルスティックを上げてみてください。モーターが回り始めるはずですがこの状態ではフルハイなどにしないで下さい。

(15) もしモーターの回転が逆である場合には、受信機バッテリーのスイッチをオフにし、動力用バッテリーを外し、送信機のスイッチを切ります。其の上でモーターとアンプ間のケーブルのうちどれか2本を入れ替えます。そしてまた(9)からやり直しをしてください。決して先に送信機のスイッチを切らないで下さい。(重要です)

以上が動作させるまでの手続きです。